

# 令和7年千葉市議会第2回定例会



Yohas 2025会場にて

令和7年6月5日(木)13時より、議場において「令和7年第2回定例会」が開会し、初日は、開会議事に引き続き各会派に分かれての議案研究が行われました。

また、今定例会においては正副議長選挙のほか、常任委員の選任、議会運営委員の選任、特別委員会委員の選任が、6月6日(金)から9日(月)にかけて行われ、新議長に松坂吉則氏、新副議長に川合隆史氏が選任されました。私自身も都市建設委員長を仰せつかり、特別委員会は大都市制度調査特別委員会に所属することとなりました。

11日(水)、12日(木)には、4交渉会派による代表質問が、13日(金)には議案質疑が行われました。

16日(月)には、新メンバーとなつた5つの常任委員会において案件審査が行われると同時に、所管事務調査の年間調査テーマについて各委員会とその年間調査テーマについて各委員会が協議し、最終日に委員長報告とともに所信表明を発表いたしました。都市建設委員会では、条例議案2件、一般議案6件の計8件の議案審査と請願1件の案件審査を行つた後、所管事務調査の年間調査テーマについて協議した結果、私も含め全10名の委員のうちの名ばかりの提案があつた、「地域公共交通について」といたしました。

18日(水)からは、一般質問が始まり35名が登壇する予定でしたが、議長監査委員、所管局の常任委員長に就任された3名から辞退の申し入れがあり、24日(火)までに32名が登壇いたしました。私も一般質問の2日目として、15時30分より登壇し、「町内自治会に係る諸問題について」と「不法投棄対策について」をテーマに行わせていただきました。

最終日となつた25日(水)には、議案・発議・請願に対する、各委員長報告、討論、採決が行われ、委員長報告では私も都市建設委員会での審査概要の報告とともに、所管事務調査の年間テーマ及び所信表明を行わせていました。その後、追加議案の人事委員会委員1件及び、人権擁護委員4件の議案第98号から第102号の人事案件審査についてはすべて可決されました。最後に、不穏な発言があつた議員から、自らの発言を取り消す旨の申し出があり、議会が許可して、令和7年第2回定例会は閉会となりました。

# 元気発信！花見川！ たんじ和彦 市議会レポート

【主な役職】立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長／都市建設委員会委員長／大都市制度調査特別委員会委員／花見川区保護司  
【発行所】花見川区花島町430-18  
【TEL】043(258)0958  
【FAX】043(286)9312  
【携帯】090-2381-0360  
【E-mail】dangi.ss@coda.ocn.ne.jp

## 一般質問について

また、意見・要望として、ごみステーションの管

理・運営では町内自治会未加入の方の多い出しや、地域外からの多い持込みも問題になつてること、従来の自治会運営と個々の新たなライフスタイルとの不適合にも触れ、元気な地域づくり、住み心地の良い地域づくり、愛着あるふるさとづくりを目指し、より多くの地域住民の皆さんにご参加いただくことへの周知をお願いいたしました。

### 1. 町内自治会に係る諸問題について

「町内自治会における業務の負担軽減について」「他の町内自治会の先進的事例等を広める取り組みについて」「電子申請の活用について」「自主防災組織について」「ごみステーションの管理・運営について」等、質問させていただきました。

### 2. 不法投棄対策について

「情報収集のため市がパトロール以外に取り組んでいることについて」「不法投棄の多い場所と不法投棄された物の傾向について」「不法投棄されやすい物の処理方法について」「不法投棄を減らす取り組みについて」等、質問させていただきました。

それに対し、「郵便局との提携、不

利用しやすい仕組みづくり」「自主防災組織の必要性やメリットの案内と会DX化モデル事業の実施効果検証」と今後の支援策の検討、「電子申請の連携、デジタルツールの紹介、事務手続きの見直しを行う」「町内自治会DX化モデル事業の実施効果検証と今後の支援策の検討」、  
「外国人市民育成強化及び活動支援」「外市民向けのごみ出しルールに係るリーフレットの作成」等のご答弁をいただきました。

それに対し、「郵便局との提携、不法投棄エリアマップの作成・配布とトラック協会・タクシー協会への情報提供要請」「道路沿いの空き地や森林、通行量や街灯が少ない場所へ

# 今定例会の議案について

今定例会に提出された当初予算議案は、専決処分2件（条例一部改正1件・議決事件一部変更1件）、補正予算案1件、条例議案17件、一般議案7件の計27件で、議員提出の発議1件、請願1件のほか、陳情が3件提出されました。

補正予算は、出産・子育て支援として保育料の負担軽減や産後ケアの充実、障害者施策として代筆・代読支援員派遣等の障害者コミュニケーション支援に係る経費が計上されたほか、債務負担行為については、学校体育館冷暖房設備整備に係る経費の増額変更や千葉城さくら祭り千葉開府900年連携イベントに係る経費が計上されました。

条例議案は、主に施設の設置管理条例の一部改正や新日本建設・金綱一男こども若者育英基金条例の制定等、一般議案は主に資材・労務費等の変動に対しインフレスライド条項を適用した契約金額の変更や工事請負契約でした。

各委員会での審査の結果、専決処分2件は承認、その他の当初議案25件は可決、「動物の愛護及び管理に関する条例一部改正」の発議は否決、「水道・下水道使用料の値上げの中止を求める請願」は不採択となり、最終日に提出された追加議案の人事案件5議案はすべて同意されました。

また、今議会中には千葉マリンスタジアム再整備計画に向け民間事業者を対象にしたサウンディング調査の開始、千葉市民会館の市単独での整備方針決定、新リサイクル施設の基本計画策定などの公表があり、今後注目すべきものとなっております。

の投棄が多い、「家電や引っ越し時の家庭ごみが多く、不適正処理等について家庭ごみの減量と出し方ガイドブックなどで周知啓発を行っている」「未然防止が何よりも重要で、地域と連携し情報把握や監視体制の強化に努める」等のご答弁をいただきました。

意見・要望では、私

身も環境局の皆さまとともに不法投棄への対応を進めて行く中で、監視力メラ設置やパトロール強化が何よりも重要で、地域と連



柏井町民有地の不法投棄現場に新たに取り付けられた監視カメラ

化等により不法投棄が徐々に減少していると実感していますので、ご答弁いただいたような対策で未然防止に努め、地域住民と一緒に不法投棄を無くして行ければと意見させていただきました。

# 地域公共交通について

今定例会において都市建設委員長を仰せつかり、所管事務調査の年間調査テーマを「地域公共交通について」としたことについては、序文でもお伝えいたしましたが、年間調査テーマ設定に至るプロセス等についてご説明させていただきます。

設定理由といたしまして、本市においてもコロナ禍を経て公共交通を取り巻く社会状況の大きな変化があり、運転



都市建設委員会正副委員長  
岳田副委員長と

手不足等によるバス路線の廃止や減便が各地域において相次ぎ、移動手段が制限される中で不便を感じる市民が増加しております。

このような状況下「市民の足」を守るべく、本市の組織改正において新年度より都市局都市部交通政策課に「バス対策担当課長」と「バス対策班」が新設され、取り組んでいくこととなりました。加えて、2021年度から2025年度を計画期間とする「千葉市地域公共交通計画」が最終年度を迎えることとなります。

また、同委員会の所管局である建設局の土木部土木保全課でも、バス待ち環境や道路利用者の利便性向上、高齢者等の外出支援を目的とし、す

でに予算化されている「千葉市歩行空間のベンチ設置計画」が進められています。当委員会といたしましても、持続可能な公共交通を実現するため、地域公共交通の再構築（リ・デザイン）や、ライドシェア・デマンド型交通も含めた交通体系のあり方、公共交通を使いやすくする環境整備等について、交通政策の総合的な調査・研究を進め、市に対しての具体的な政策提言を目指すことといたします。ぜひ、市民・区民の皆さまからのご意見・ご要望をいたただければと存じます！

## Snapshot

### =能登半島訪問=



珠洲市役所前で



輪島朝市港近く

ご意見・お問い合わせは  
こちらまでお寄せください。